

神代川かわまちづくり推進協議会(仮称) 設立式

日時 平成26年5月8日(木) 13:00~15:30

場所 宮崎県西臼杵支庁大会議室

議事次第

- | | | |
|---|-------------------------|-------------------|
| 1 | 開会 (森土木課長) | 13:00 開会 |
| 2 | 開会挨拶 (杉尾先生、上田次長) | 13:01~13:07 |
| 3 | 自己紹介 (出席者全員) | 13:07~13:30 |
| 4 | かわまちづくり計画等の説明 | |
| ① | 経緯及び協議会設立趣旨説明(県)・・・資料1 | 13:30~13:40 (10分) |
| ② | かわまちづくり計画について(県、町)・・・別冊 | 13:40~14:10 (30分) |
| ③ | 本年度のスケジュールについて(県)・・・資料2 | 14:10~14:20 (10分) |
| | (休憩) | 14:20~14:30 (10分) |
| ④ | 他地区での事例紹介(桑子先生) | 14:30~15:00 (30分) |
| 5 | その他 (意見交換等) | 15:00~15:30 (30分) |
| 6 | 閉会 (森土木課長) | 15:30 閉会 |

**神代川かわまちづくり推進協議会（仮称）
委員名簿**

（敬称略）

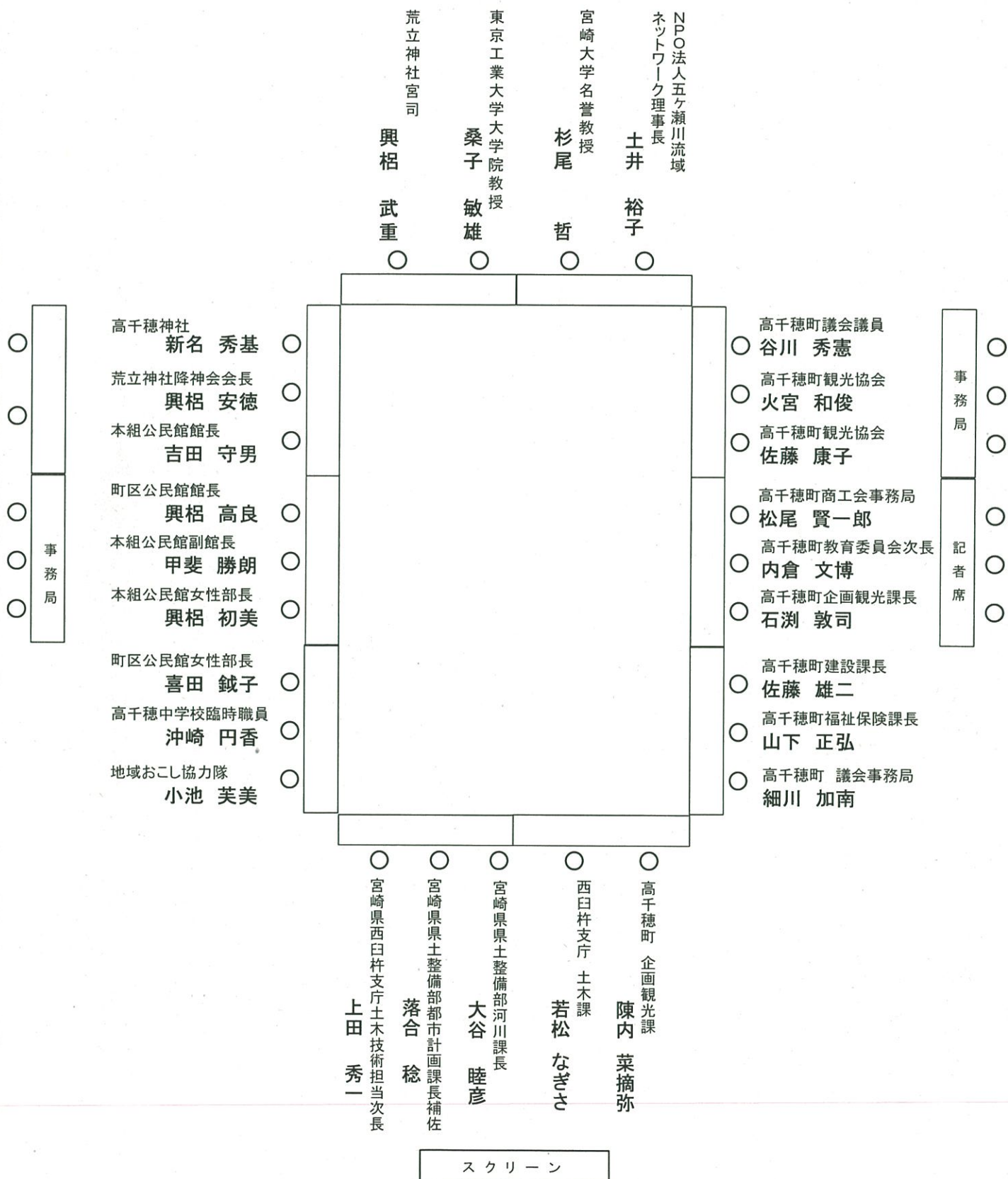
番号	所属・役職	氏名	備考
1	高千穂神社	新名 秀基	
2	荒立神社 宮司	興梠 武重	
3	高千穂町観光協会	火宮 和俊	
4	高千穂町観光協会	佐藤 康子	
5	高千穂町商工会 事務局	松尾 賢一郎	
6	神代川清流復活改修事業促進協議会 会長	谷川 秀憲	
7	本組公民館 館長	吉田 守男	計画委員
8	町区公民館 館長	興梠 高良	計画委員
9	本組公民館 副館長	甲斐 勝朗	計画委員
10	本組公民館 女性部長	興梠 初美	計画委員
11	町区公民館 女性部長	喜田 鉞子	計画委員
12	荒立神社 降神会 会長	興梠 安徳	
13	高千穂中学校臨時職員	沖崎 円香	
14	地域おこし協力隊	小池 芙美	
15	高千穂町 建設課長	佐藤 雄二	計画委員
16	高千穂町 企画観光課長	石渕 敦司	計画委員
17	高千穂町 教育委員会 次長	内倉 文博	計画委員
18	高千穂町 福祉保険課長	山下 正弘	
19	高千穂町 議会事務局	細川 加南	
20	高千穂町 企画観光課	陳内 菜摘弥	
21	宮崎県西臼杵支庁 土木課	若松 なぎさ	

**神代川かわまちづくり推進協議会（仮称）
オブザーバー名簿**

（敬称略）

番号	所属・役職	氏名	備考
1	宮崎大学名誉教授	杉尾 哲	計画委員
2	東京工業大学大学院 教授	桑子 敏雄	計画委員
3	九州大学工学研究院 教授	島谷 幸宏	計画委員
4	NPO法人「五ヶ瀬川流域ネットワーク」理事長	土井 裕子	計画委員
5	高千穂神社 宮司	後藤 俊彦	
6	樹医（ひむか造園土木）	佐藤 光	
7	宮崎県県土整備部 河川課長	大谷 陸彦	計画委員
8	宮崎県県土整備部 都市計画課長	瀬戸長 秀美	
9	宮崎県西臼杵支庁 土木次長	上田 秀一	計画委員

神代川かわまちづくり推進協議会(仮称) 配席図



「神代川かわまちづくり推進協議会（仮称）」設立趣旨

（背景）

神代川は、天孫降臨の際に水のなかった国土に「水の種」がもたらされたとの神話が残る天真名井をはじめ、神話ゆかりの史跡が周辺に多くあります。一方で、昭和４０年代の水害を契機に河川改修を行った結果、古くからの環境・景観が失われ、人びとの生活と川との緊密な関係が希薄になりつつあります。

このような中、川本来の環境と景観を再生し、人びとが川とともに生きる喜びを取り戻し、日本文化の原風景の体感を共有できるようにするため、「神代川河川再生計画検討委員会」が平成２３年１１月に設立され、「神代川かわまちづくり計画書」が平成２６年１月に策定されています。

その中で、「天真名井周辺・神々のゾーン」、「皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン」及び「神話・歴史・文化の周遊ゾーン」が設定され、今後は全体の詳細な計画を立案し、実施に反映していく段階となっています。

（課題）

このためには、河川管理者である宮崎県とまちづくりの主体である高千穂町や地域関係者をはじめとする、各主体が相互に連携して、整備内容や手法及び管理運営方法も含めた実現化方策をより具体的に議論し、それぞれの役割分担と協働のもとで、利活用や維持管理を実践することが必要となっています。

（検討の目的）

「神代川かわまちづくり推進協議会（仮称）」は、「神代川河川再生計画検討委員会」の実践組織として、利用者、地域住民、市民活動団体、地域自治体、河川管理者等が集結し、神代川の河川空間を活かした「神代川かわまちづくり計画」に基づき、具体的な実施内容について協議・調整し、評価・見直しを行うことにより、日本の歴史・文化的環境・景観の再生を目指すかわまちづくりのさきがけとして、継続的に地域活性化に貢献することを目的としています。

平成２６年５月 日

神代川かわまちづくり推進協議会（仮称）

神代川かわまちづくり推進協議会（仮称） 設置要綱（案）

（目的）

第1条 神代川かわまちづくり計画を推進する上で、幅広い見地から意見を聴取し実施に反映するために、神代川かわまちづくり推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（検討事項）

第2条 協議会は、次の事項について検討を行う。

- （1）神代川のかわづくりに係る具体的な実施内容について
- （2）神代川を含む周辺地域のまちづくりに係る具体的な実施内容について
- （3）河川を含む周辺施設整備後の利活用・維持管理について

（構成）

第3条 協議会は、別表1に掲げる委員及びオブザーバーをもって構成する。

（任期）

第4条 協議会委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

（協議会）

第5条 協議会は、神代川河川再生計画検討委員会の実践組織として活動を行い、必要に応じて部会を設立するとともに、部会には部会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 部会長は、それぞれの会務を総括する。

3 部会長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、部会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

4 部会は、部会長が招集する。

5 部会長が必要と認める場合は、委員以外の者を協議会に出席させることができる。

（事務局）

第6条 協議会の事務局は、宮崎県西臼杵支庁土木課、高千穂町建設課並びに高千穂町企画観光課に置く。

（その他）

第7条 本要綱に定めるものの他、協議会の運営に必要な事項は、神代川河川再生計画検討委員会委員長が定める。

（附 則）

この要綱は、平成26年5月 日 から施行する。

平成25年度「かわまちづくり」計画への登録について

神代川かわまちづくり計画は、3月26日に国土交通省の「かわまちづくり」計画に登録されました。

また、同日には、国土交通省九州地方整備局から、神代川かわまちづくりの概要が公表されました。

第1回検討委員会(H23. 11. 22)

- ・神代川の現状把握
- ・河川再生に向けた意見交換

第2回検討委員会(H24. 3. 9)

- ・天真名井の湧水・水質について
- ・河川再生メニューについて検討

第3回検討委員会(H25. 7. 11)

- ・河道計画について
- ・地下水の水質について
- ・神代川に最適な石積護岸について

第4回検討委員会(H25. 12. 20)

- ・かわまちづくり計画書について
- ・天真名井の水質・水量調査について
- ・まちづくりについて

「かわまちづくり計画書」引継ぎ、申請
(H26. 1. 27)

- ・高千穂町へ「かわまちづくり計画書」へ引継ぎを行い、同日国土交通省の「かわまちづくり支援制度」に申請

「かわまちづくり」計画への登録
(H26. 3. 26)

- ・国土交通省から高千穂町長宛てに登録通知が送付される
- ・神代川かわまちづくりの概要が公表される



H26.1/27 引継ぎ式の様子(高千穂町長室)



H26.1/29 タリデイリー記事



国水環第144号

平成26年3月26日

高千穂町長 殿

国土交通省

水管理・国土保全局長



「かわまちづくり」計画の登録について

平成26年1月27日付け高建発第428号「「かわまちづくり」計画の登録について(申請)」により申請のあった神代川における「かわまちづくり」計画について登録しましたので、通知します。

「日本発祥の地」神都 高千穂

神代川かわまちづくり

～川と日本人の心の再生を目指して～(高千穂町)

市町村名： 宮崎県 高千穂町

対象河川： 五ヶ瀬川水系 神代川

1. 概要

宮崎県高千穂町は、高天原神話と天孫降臨神話の舞台として、日本文化の根源に位置していることから、日本発祥の地「神都 高千穂」を目指して、観光を含めた地域活性化事業に取り組んでいる。なかでも町の中心を流れる神代川がくしふるの峰の麓にさしかかるところに位置する天真名井は、水のなかった国土にニニギノミコトが天から「水の種」をもたらしたことで湧いた泉であるとの伝承が残っている。

このような中、神代川では昭和40年代の河川改修を機に、古代を彷彿とさせる環境・景観は失われ、人々の生活と神代川との緊密な関係は希薄になっている。

このため、地域住民と宮崎県、高千穂町との緊密な連携のもと、川とともに生きることの喜びを取り戻し、またこの地域を訪れる人びとに日本文化の原風景の体験を共有できるように神代川本来の姿への再生や神話史跡コースの整備等、川とまちが一体となった取組を行うとともに、観光振興への寄与を図る。

2. 整備内容

神代川かわまちづくり整備イメージ



夜神楽



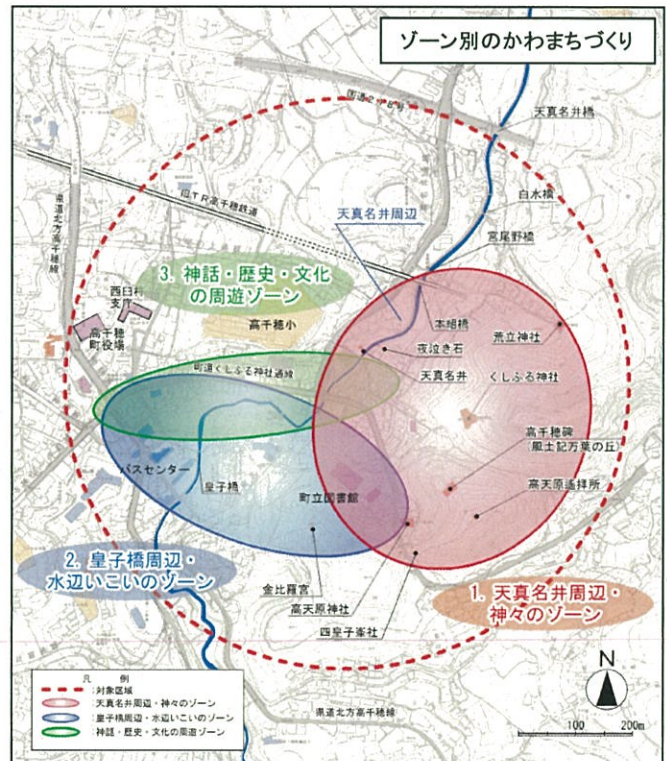
昭和30年代の天真名井



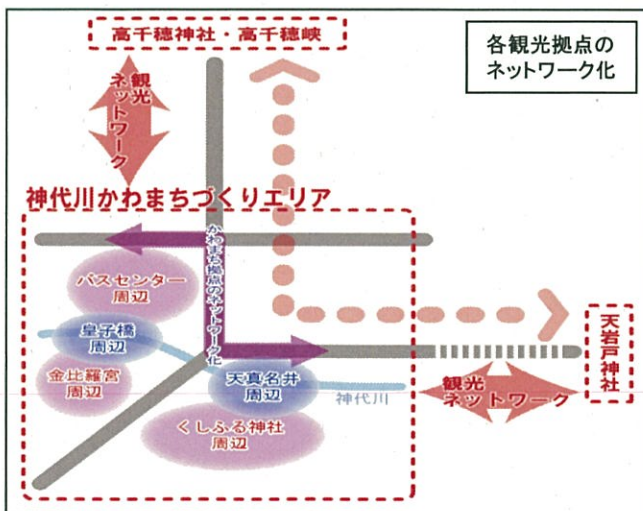
現在の天真名井



現在の神代川



ゾーン別のかわまちづくり



各観光拠点のネットワーク化

神代川かわまちづくりエリア

かわまちづくり支援制度

～良好なまち空間と水辺空間の形成～

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

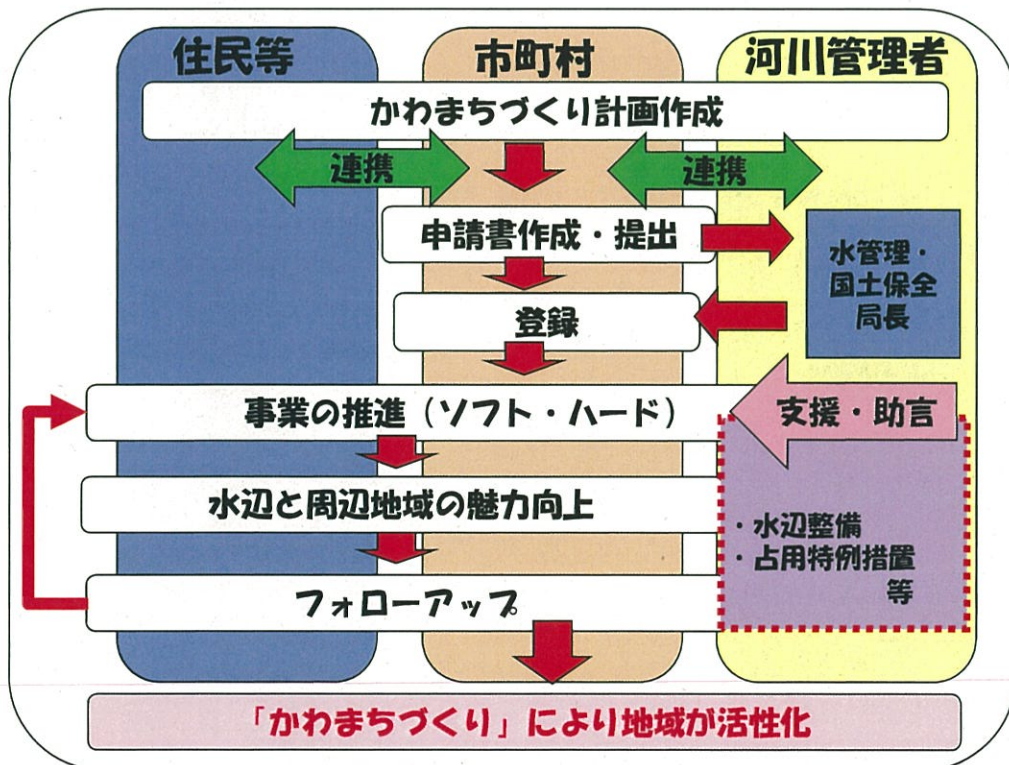
○事業概要

ソフト支援：民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度（都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例）等を活用、河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援。

ハード支援：治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。



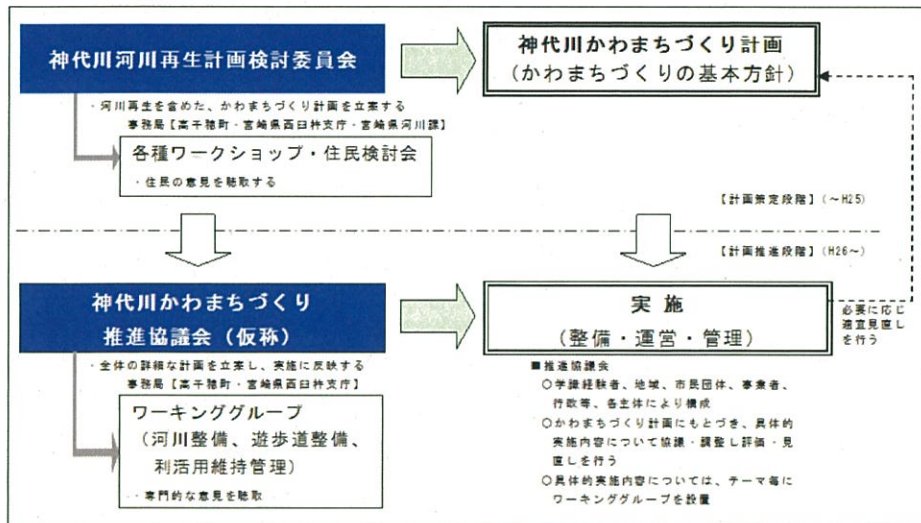
管理用道路をフットパスとして活用（最上川）



図：かわまちづくりの流れ

神代川かわまちづくり推進協議会(仮称)の役割と今年度のスケジュール

1 神代川かわまちづくり推進協議会(仮称)・検討委員会の役割



2 今年度のスケジュール(案)

推進協議会

検討委員会

設立式(5月8日)

【推進協議会について】

- ・「かわまちづくり計画書」登録までの背景
- ・推進協議会の役割、今後の予定について

第1回(7月上旬)

【ワークショップ、シンポジウム】

- ・専門家とともに模型を作成(1日目)
- ・講師を招き、シンポジウムを開催(2日目)

第2回(8月上旬)

【ホームページ作成】

- ・事業内容や進捗状況を公表するためのホームページ作成方法の検討

第3回(8月下旬)

【広報活動、作成した模型について】

- ・案内ガイド育成、まちなか案内所の取組み方法の検討
- ・第1回ワークショップにて作成した模型をもとに意見交換会

第4回(10月下旬)

【まちづくりについて】

- ・案内施設、遊歩道整備等のまちづくりに関する検討

第5回検討委員会(9月下旬)

【ワークショップの成果報告】

- ・3回実施したワークショップの内容(模型、ホームページ、案内ガイド等)について報告し、意見交換を実施

第6回検討委員会(12月下旬)

【予備設計まとめ】

- ・9月開催委員会の意見に対する対応方針の確認
- ・計4回のワークショップでの具体策を報告し、意見交換を実施